

課 題	トマトの品種比較試験(抑制栽培)		
担 当 者	小林 照世		
目 的	三里浜砂丘地で新たなブランドトマトを普及するため、候補品種の比較試験を行い、優良品種を選定する。		
供 試 品 種	華セブン、TF3102-17、華カミカミ、SWP、華小町(福井シード株式会社)		
試験区構成	1区 華セブン(中玉) 2区 TF3102-17(中玉) 3区 華カミカミ(ミニ) 4区 SWP(ミニ) 5区 華小町(中玉)		
区制及び株数	1区制 1区 10株		
耕 種 概 要	栽培条件	施設	
	定 植	7月30日	
	栽植密度	畝幅 150cm × 株間 70cm × 条間 45cm 190株/a	
	仕立て方	2本仕立て	
	施 肥 量	元 肥	堆肥 200kg/a
			有機石灰 15kg/a
			被覆燐硝安加里エコロング 413(70日) 15kg/a
			有機入り複合肥料 674Z号 20kg/a
			ケイ酸カリ 2kg/a
		成分量	N3.3 - P3.1 - K3.2 kg/a
	収 穫	10月6日から12月27日	
調 査 項 目	収量調査	全重、全収穫個数、良品重、良品個数、糖度	
期待される効果	新ブランドトマトの普及拡大		

- 1 収量調査を表1に示した。全重量と可販重量、の値は、2区が、全収穫個数、可販個数と可販率の値は4区が一番高かった。5区は可販重量、可販率とも一番低かった。
- 2 可販収穫物調査を表2に示した。1個当たりの重量は、2区が一番重く、4区が一番軽かった。糖度は、4区の7.9°Bxが一番高く、5区の7.1°Bxが一番低かった。糖度が8°Bxを超える区はなかった。
- 3 規格外品の主な内訳を表3に示した。裂果は1区が一番多く、4区が一番少なかった。つやなし果は1区と2区が一番多かった。ひびは5区が一番多く、3区と4区はなかった。
以上の結果から、可販重量が多かったのは2のTF3102-17であったが、糖度は8°Bxを超えず、抑制栽培では優良品種の選定はできなかった。

表1 収量調査(10株合計)

	全重量 (kg)	全収穫 個数(個)	可販重量 (kg)	可販個数 (個)	規格外品重 (kg)	規格外品個数 (個)	可販率 (%)
1区	35.5	1,076	14.6	440	20.9	636	41.2
2区	45.9	1,067	29.9	690	16.0	377	65.1
3区	35.9	1,329	22.6	914	13.3	415	63
4区	<u>24.5</u>	1,598	18.7	1,103	<u>5.8</u>	495	76.5
5区	25.1	<u>605</u>	<u>7.7</u>	<u>195</u>	17.4	410	<u>30.8</u>

可販は福井県出荷規格を参考にした。

表2 可販収穫物調査(10株当たり平均)

	1個当たり重量(g)	縦径(cm)	横径(cm)	糖度(°Bx)
1区	33.3	4.0	3.9	7.3
2区	43.3	4.2	4.2	7.3
3区	24.8	4.4	3.6	7.2
4区	<u>17.0</u>	3.2	3.3	7.9
5区	39.7	4.0	4.4	<u>7.1</u>

表3 規格外品の主な内訳

	裂果			つやなし果			ひび		
	重量 (g)	個数 (個)	割合 (%)	重量 (g)	個数 (個)	割合 (%)	重量 (g)	個数 (個)	割合 (%)
1区	16.6	431	46.8	<u>1.1</u>	85	3.1	1.4	38	3.9
2区	7.9	184	17.2	<u>1.1</u>	43	2.4	2.2	54	4.8
3区	12.6	383	35.1	0.05	3	0.14	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>
4区	<u>2.5</u>	<u>118</u>	<u>10.2</u>	0.13	18.3	0.53	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>
5区	8.7	192	34.7	0.92	33.3	3.7	5.0	118	19.9